



# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	道の駅しょうなん再整備工事	階数	地上1F
建設地	千葉県柏市箕輪新田字城山29-1他	構造	S造
用途地域	法22条の地域	平均居住人員	270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,360 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年1月10日
敷地面積	35,452 m <sup>2</sup>	作成者	桔川 卓也
建築面積	3,063 m <sup>2</sup>	確認日	2019年1月16日
延床面積	2,949 m <sup>2</sup>	確認者	古谷 誠章



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 「道の駅しょうなん」に人が集まり、地域を楽しむための拠点になるよう、「出発の場」であり、「到着場」、そして「出会いの場」となるような施設を提案します。「道の駅しょうなん」は、手賀沼地域の回遊動線をつくり、交流人口の増加を図る地域のセントラルステーション(中央駅)となります。新たな商業施設であると同時に、産業としての農業を持続的に支える「販売・加工・人材育成」の拠点、手賀沼沿いのカヌー・レジャー・観光と連携する拠点となります		<b>その他</b> 特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 屋根外壁に断熱施工。建材はF☆☆☆☆適合材料を採用。全館禁煙。	<b>Q2 サービス性能</b> 産直売場 平均天井高7.192m。防汚性の高い外壁塗装を採用。耐用年数の長い配管を採用。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数=44.48%。空地率=91.36%。緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積率=45.53%。柏市の緑化条例で定められている植栽を積極的に取り入れている。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋根外壁に断熱施工。LED照明器具の採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓、節水型機器の採用。LGS工法により容易に分別解体可能。	<b>LR3 敷地外環境</b> 地表面対策面積率=60.22%。光害対策ガイドラインの過半を満たす、広告物照明設置無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

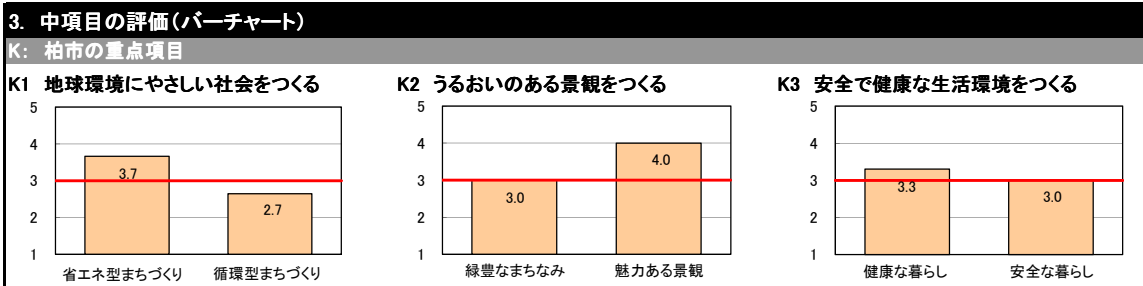


# 評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

<b>1 建物概要</b>	
建物名称 道の駅しょうなん再整備工事	建築物の環境効率 (BEEランク) <b>B+</b> ★★★★★

<b>2 重点項目への取組み度</b>		
重点項目	取組み度※(得点/満点)	評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.1 / 5.0	ふつ
K2 うるおいのある景観をつくる	3.5 / 5.0	ふつ
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.1 / 5.0	ふつ
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつ 3点以上
		がんばろう 3点未満



<b>4. 設計上の配慮事項</b>	
<p><b>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</b></p> <p>屋根・外壁に断熱施工。</p> <p>建物内にゴミ置場スペースを計画し、スペース内にスチールラックを設置し、ゴミ種別ごとにストックスペースを計画。</p>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <p>1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア <b>4.4</b></p> <p>1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア <b>3.0</b></p> <p>1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア <b>3.8</b></p> <p>1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア <b>3.0</b></p> <p>2. 循環型まちづくり</p> <p>2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア <b>3.0</b></p> <p>2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア <b>3.0</b></p> <p>2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア <b>2.6</b></p> <p>2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア <b>2.0</b></p>
<p><b>K2 うるおいのある景観をつくる</b></p> <p>まとまった芝生広場を設け、自然区域を形成。</p> <p>田園風景でもある温室ハウスの形を用いた家型形状の外観とし、既存施設との関係性を考慮しつつ、広場スペースを確保した配置計画としている。</p>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <p>1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア <b>3.0</b></p> <p>2. 魅力ある景観</p> <p>2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア <b>4.0</b></p> <p>2.2 水空間の創出 設置の有無 <b>-</b></p> <p>2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 <b>-</b></p>
<p><b>K3 安全で健康な生活環境をつくる</b></p> <p>全館禁煙、バリアフリー新法建築物移動等円滑化基準の最低限を満たす。</p> <p>内部空間・外構空間には、まんべんなく、照明計画を行い、防犯性向上に努めている。更には、防犯カメラ設置も加え、エリア全体の防犯性に考慮している。</p>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 健康な暮らし</p> <p>1.1 空気質環境(Q1-4) スコア <b>3.6</b></p> <p>1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア <b>3.0</b></p> <p>2. 安全な暮らし</p> <p>2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア <b>3.0</b></p> <p>2.2 防犯対策 防犯性の配慮 <b>-</b></p>